

4 入会のご案内

JPCOARには、全国の大学・研究機関をはじめとした、601の機関が参加しています(2019年5月10日時点)。
参加機関は、運営委員会の委員や作業部会を派遣することにより、JPCOARが展開する諸活動の計画立案・実施に参画したり、JPCOARが開催するオープンアクセス関連のシンポジウムやワークショップ、リポジトリ担当者向け研修等に職員を参加させることができます。
これからのリポジトリコミュニティをさらに強固なものとするため、ぜひJPCOARへご参加ください。

参加申込方法

下記URLより入会申請書をダウンロードし、必要事項をご記入の上、事務局まで電子メールにてお送りください(紙媒体によるお申し込みは受け付けておりません)。
なお、お申し込みの前に、必ずJPCOARの会則・規程をご確認ください。

・オープンアクセスリポジトリ推進協会入会申請書	http://id.nii.ac.jp/1458/00000014/
・オープンアクセスリポジトリ推進協会会則	http://id.nii.ac.jp/1458/00000010/
・オープンアクセスリポジトリ推進協会運営委員会規程	http://id.nii.ac.jp/1458/00000011/
・オープンアクセスリポジトリ推進協会会費規程	http://id.nii.ac.jp/1458/00000012/

会員となることができる機関

1. 国立大学図書館協会、公立大学協会図書館協議会、私立大学図書館協会のいずれかに属する図書館
2. 科学研究費補助金取扱規程(昭和40年3月30日文部省告示第110号)第2条1項で定める研究機関
3. 1または2に属する部局等
4. 国立情報学研究所
5. その他、協会の目的に賛同する大学図書館等の施設であって、運営委員会が認めたもの

基本会費とJAIRO Cloud利用料金

JPCOARへの参加には、機関規模に応じた基本会費2~6万円(年額・不課税)が必要となります。
また、JAIRO Cloudを利用する機関は、機関規模に応じた利用料金(年額・課税)、JAIRO Cloud登録容量(100GB超)に応じた追加の特別料金(年額・課税、2020年4月より適用)も併せて必要となります。詳しくはJPCOAR会費規程をご覧ください。

JAIRO Cloudの共同運営

国立情報学研究所の提供するリポジトリのクラウドサービス「JAIRO Cloud」は、JPCOARと国立情報学研究所が共同運営しています。

コミュニティサイトやユーザ窓口をはじめとした運用に係る事務局機能はJPCOARが担当し、JAIRO Cloudの利用機関はJPCOARへの参加が必須となります。



お申し込み・お問い合わせ先

オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)事務局

国立情報学研究所 学術基盤推進部 図書館連携・協力室

〒101-8430 東京都千代田区一ツ橋2-1-2

Email: jpcoar@nii.ac.jp / URL: <https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/>

2019年5月 発行



オープンアクセスリポジトリ推進協会

Japan Consortium for Open Access Repository : JPCOAR

オープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)は、国内の大学・研究機関が力を結集し、オープンアクセスの発展に向けた課題の解決に共同で取り組んでいく拠点です。

J P C O A R
オープンアクセスリポジトリ推進協会

1 目的

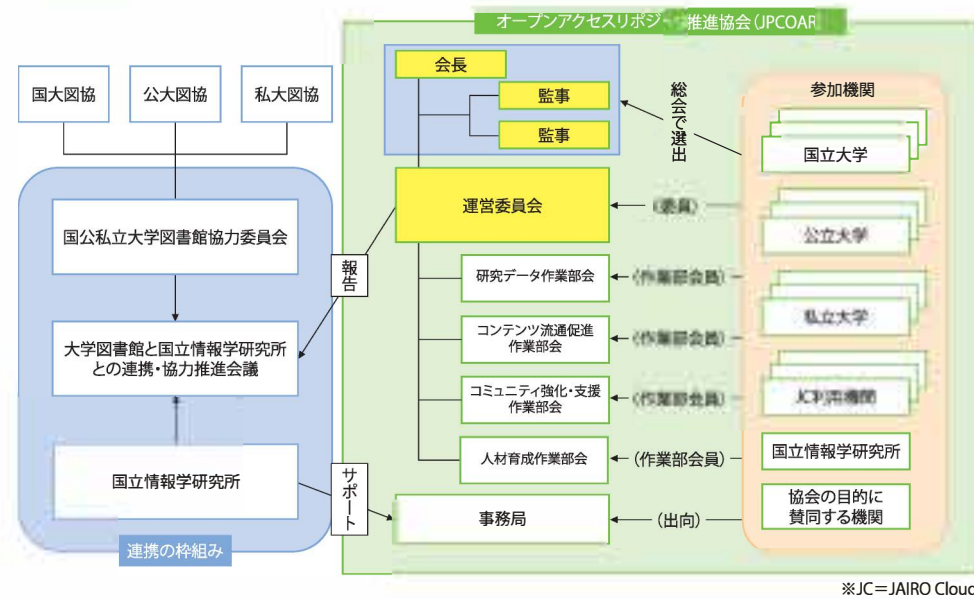
オープンアクセスリポジトリ推進協会 (JPCOAR) は、リポジトリを通じた知の発信システムの構築を推進し、リポジトリコミュニティの強化と、我が国のオープンアクセス並びにオープンサイエンスに資することを目的とし、国公立大学図書館協力委員会と国立情報学研究所の間の連携・協力協定に基づき、2016年7月に設立されたコミュニティです。

目的達成のため、次の重点目標を掲げて活動を行っています。

重点目標

- ・ オープンサイエンスを含む学術情報流通の改善
- ・ リポジトリシステム基盤の共同運営と有効活用
- ・ リポジトリ公開コンテンツのさらなる充実
- ・ 担当者の人材育成のための研修活動
- ・ 国際的な取組みに対する積極的連携

2 組織



※JC=JAIR Cloud

総会

参加機関の意思を直接反映させる場が総会です。総会は、会長や監事の選出や運営委員会の委員の承認を行うほか、年度ごとの事業計画、事業実施内容、会費徴収に関する事項、予算・決算に関する事項等の報告を受け、それを承認する役割を担います。

運営委員会

運営に関する基本方針を策定する役割を担っています。運営委員会の委員は、総会が承認し、JPCOARの会長により委嘱されます。運営委員会の委員長は委員の互選で選出されます。

作業部会

運営委員会の下で、各種事業(研修・広報等)の具体的な活動の中心となる組織です。参加機関に所属する職員が、作業部会員となります。また、期間限定の事業を行うため、タスクフォースを設置して活動を行うこともあります。

事務局

JPCOARの活動に必要な業務を遂行する部署です。事務局の専任職員は参加機関からの出向職員です。

3 活動内容

JPCOARでは、2019年度から2021年度の3年間の中期的な戦略として、『JPCOARオープンアクセスリポジトリ戦略 2019～2021年度』を策定しました。機関リポジトリをめぐる国内外の状況を踏まえ、国内外の関係する団体、コミュニティと連携し、リポジトリによる知の発信システムを構築し、オープンアクセスのより一層の推進を目指します。このビジョンを実現するために、JPCOARでは5つの戦略を掲げ、それぞれに対応した具体的な活動に、4つの作業部会と運営委員会が主体となって取り組みます。

研究データ作業部会

研究データ対応を見据えたりポジトリの役割、機能要件を明らかにし、研究データ公開基盤の整備を推進するとともに、国内外の関連機関と連携し、研究データの情報流通促進及び評価に関する活動を行います。これらの活動をとおり、研究データの管理・共有・公開に携わる職員の意識、スキルの上昇を図り、会員機関における活動を支援します。



コンテンツ流通促進作業部会

コンテンツの収集や利活用の促進など、リポジトリを通じた学術情報のオープン化に寄与する活動を担います。多様なコンテンツの流通を支える「JPCOARスキーマ」の普及に努め、国際的な相互運用性を確保し、外部連携を支える永続的識別子の活用を促進するなど、コンテンツ流通の基盤整備を行います。また、国立情報学研究所と連携・協力し、JAIR Cloudの機能改善と安定的、持続的な運営を行います。



オープンアクセスリポジトリ戦略 2019-2021

- 1 オープンサイエンスの推進に寄与するため、研究データの公開、流通に関する先導的な取り組みを行う。
- 2 オープンアクセスを推進する学術情報流通の基盤を整備し、コンテンツの流通、活用を促進する。
- 3 オープンアクセスリポジトリを支えるコミュニティとしての機能を強化する。
- 4 オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材育成を行う。
- 5 協会の活動基盤を強化し、JPCOARのブランド力を高める。



リポジトリコミュニティとしてのJPCOARの機能強化に取り組みます。会員間のコミュニティ活動の支援や、会員機関の優れた取り組みへの支援とその成果の還元、その他の各機関の活動情報や国内外の最先端の知見の収集・共有などを通じ、協会全体の発展を目指します。また、JAIR Cloudコミュニティサイトを通じた利用機関へのサポートや、JAIR Cloudへの移行支援も実施します。

オープンアクセス、オープンサイエンスの推進に対応できる人材に必要な技能や知識を明確にし、リポジトリ担当者、研究支援に携わる職員など様々な対象・レベルでの研修の機会の充実を図ります。また国内外での活動を通じて、オープンアクセス、オープンサイエンスを牽引する中核的人材の育成を支援します。

コミュニティ強化・支援作業部会

会員機関の拡大を図り、人的および財政的な活動基盤をより強固なものとし、また、協会の活動及びその成果を広く発信し、国内外での協会の認知度向上に努め、海外においては特にアジアでの存在感を高めます。国際的なコミュニティやイニシアティブとの連携を進めるとともに、国内の関係機関や組織等と適切に連携を行っていきます。

人材育成作業部会

運営委員会